



3 学期を考える！ ～令和 7 年もよろしくをお願いします～

1 月 10 日（金）に 3 学期がスタートしました。

2 学期終盤には、マイコプラズマ、コロナ、インフルエンザと感染症が猛威を振るいやむを得ず学校閉鎖の措置もとりましたが、3 学期は感染症等の罹患なく、おかげさまで大変落ち着いたスタートができました。保護者の皆様、様々なご理解とご協力ありがとうございました。

さて、3 学期は 42 日間と一番短い学期ですが、3 年生の高校入試をはじめとして、次のステージに向かって学習も生活も総まとめの時期となります。一人一人がきちんと目標をもち、充実した学校生活となるよう期待をしているところです。本号では、次の 3 つの視点をもって、本校の様子を確認してみましょう。

視点1 整理・整頓はどうか？

写真は、1 年生と 2 年生の廊下の様子です。サブバック、防寒着が整然と並んでいます。3 年生も当然きれいに整理整頓されています。



視点2 ズックを揃え下足入れに入れているか？

写真は、1 年生下足箱です。やや不揃いだった下足箱が、2 学期後半にはきちんと揃うようになりました。



視点3 掲示物に乱れはないか？

写真は、昇降口から入って目の前。生徒会活動に係る掲示物は、目を引き、活動の様子が分かる効果的な掲示になっています。



<考察> 総まとめの学期に考えること

各学年とも、1・2 学期までに多くの学習、体験を重ねてきました。どの学びも最初は小さな種かもしれませんが、やがて芽を出し、花を咲かせます。しかし、一番目を向けるべきはその土台となる「土」だと私は思います。豊かな栄養を含んだ土づくりに必要なことは何でしょうか。学校での「土づくり」とは、いわば挨拶や礼儀、感謝など、集団生活で暮らす際の心の基本、生活の基本への指導を指すのではないかと考えます。

このようなことに私がこだわる理由は、教員生活を振り返り、心の基本の形成に最も影響を与えるのが、中学校という多感な時期だというふうに感じるためです。

写真に示すように、ザックも靴も自分の所作の跡がしっかり見えるようになっていますが、本校の生徒は周りの人のことを考え、自分勝手な置き方やしまい方をしません。つまり、生活を整える心が確実に育っている証です。大変素晴らしいことですし、本校が誇れることです。

総まとめの 3 学期。特別な取り組みではなく、改めて、朝の挨拶、授業、給食、清掃をしっかり行い、明日を迎えるルーティンを大事に過ごして欲しいと思っています。3 年生はしっかり体調管理し入試に向かってください。